

令和 2 年 7 月 14 日
気 象 庁 予 報 部

配信資料に関する仕様 No. 12105

～シグメット情報～

1. 概要

シグメット情報 (SIGMET) は、世界気象機関 (WMO) において航空機の安全に影響する可能性がある航空路上の特定の天気現象の発現や予想について、気象監視当局が発表する情報として定義され、日本では気象庁本庁 (RJTD) が各現象について必要と認める場合に随時発表している。気象庁が担当するシグメット情報の対象空域は、福岡飛行情報区 (福岡 FIR、RJJJ) である。

2. 内容

(1) 対象とする現象及び有効期間

現象	有効期間
雷電(TS)・乱気流(TURB)・着氷(ICE)・山岳波(MTW)・砂じん嵐(DS/SS)・放射性物質の状況(RDOACT CLD)	4 時間以内
台風 (TC)	6 時間以内
火山灰の拡散状況 (VA)	6 時間以内

有効期間内に現象の発生する可能性がなくなった場合は、発表中のシグメット情報を解除 (CNL) する。シグメット情報の切り替えを行わなかった場合、有効期間の終了時刻で無効となる。

(2) 電文

電文は、冒頭符号に続き、標題 (RJJJ SIGMET)、発表番号、有効期間、発表官署 (RJTD)、本文で構成される。

ア. データ種類コード、データ形式、冒頭符号

現象	データ種類コード	データ形式	冒頭符号 (A/N)
雷電・乱気流・着氷・山岳波・砂じん嵐・放射性物質の状況	WSJP31	A/N(半角英数字)	WSJP31 RJTD YYGGgg
台風	WCJP31	A/N(半角英数字)	WCJP31 RJTD YYGGgg
火山灰の拡散状況	WVJP31	A/N(半角英数字)	WVJP31 RJTD YYGGgg

YYGGgg : 発表日付 (YY)、時刻 (GGgg) UTC

イ. シグメット情報の番号表記について

「雷電・乱気流・着氷・山岳波・砂じん嵐・放射性物質の状況（データ種類コード：WSJP31）」、「台風（WCJP31）」、「火山灰の拡散状況（WVJP31）」の3種類について、それぞれ独立して以下の通り表記する。

・シグメット情報の発表番号は、“A03”のようにアルファベット1字＋数字2桁で表記する。

・1通のシグメット情報に記述できる情報は、1つの現象のみ。

・アルファベットは一連の現象に対して同じアルファベットを用い、数字は毎日0001UTC以降に01から始まる通番とする。

ウ. 例文

例文1：雷電によるもの

＜雷電に関する積乱雲の雲頂高度をFL450より高いと予想して発表する場合＞

WSJP31 RJTD 260530 冒頭符号
RJJJ SIGMET M01 VALID 260530/260930 RJTD- 冒頭符号
RJJJ FUKUOKA FIR FRQ TS FCST WI N4220 E14100 - N4250 E14010 - 冒頭符号
N4448 E14446 - N4430 E14540 - N4337 E14547 - N4220 E14100 TOP ABV 冒頭符号
FL450 MOV E 30KT INTSF= 本文

例文2：強い乱気流によるもの

＜ある領域でFL360～FL390にSEV TURBを予想して発表する場合＞

WSJP31 RJTD 040945

RJJJ SIGMET A01 VALID 040945/041345 RJTD-
RJJJ FUKUOKA FIR SEV TURB FCST WI N3400 E13300 - N3400 E13800 -
N3630 E13730 - N3630 E13230 - N3400 E13300 FL360/390 MOV E 35KT
INTSF=

例文3：強い着氷の航空機気象観測報告に基づくもの

WSJP31 RJTD 260530

RJJJ SIGMET S01 VALID 260530/260730 RJTD-
RJJJ FUKUOKA FIR SEV ICE OBS AT 0509Z N3521E14053 FL095 STNR NC=

例文４：強い山岳波によるもの

＜東北地方上空の FL020～FL100 に SEV MTW を予想して発表する場合＞

WSJP31 RJTD 080725

RJJJ SIGMET X01 VALID 080725/081125 RJTD-

RJJJ FUKUOKA FIR SEV MTW FCST WI N3640 E14000 - N3750 E14000 -

N4040 E14050 - N4040 E14150 - N3910 E14220 - N3700 E14120 -

N3640 E14000 FL020/100 STNR INTSF=

例文５：台風によるもの（CB 域を円形で表現する場合）

WCJP31 RJTD 081015

RJJJ SIGMET U04 VALID 081015/081615 RJTD-

RJJJ FUKUOKA FIR TC FAXAI PSN N3330 E13855 CB OBS AT 0900Z WI 110NM OF TC CENTRE
TOP FL500 NC

FCST AT 1500Z TC CENTRE PSN N3450 E13910=

例文６：台風によるもの（CB 域を多角形で表現する場合）

WCJP31 RJTD 271910

RJJJ SIGMET F08 VALID 271910/280110 RJTD-

RJJJ FUKUOKA FIR TC JELAWAT PSN N3000 E14000 CB OBS AT 1800Z WI N3030 E13940 -
N3030

E14250 - N2940 E14600 - N2830 E14340 - N3030 E13940 TOP FL500 NC

FCST AT 0000Z TC CENTRE PSN N3500 E14500=

例文７：火山灰の拡散状況によるもの（拡散領域なし）

WVJP31 RJTD 201055

RJJJ SIGMET I02 VALID 201055/201655 RJTD-

RJJJ FUKUOKA FIR VA ERUPTION MT SAKURAJIMA (AIRA CALDERA) PSN N3136

E13039 VA CLD OBS AT 1037Z FL110 MOV SE=

例文 8 : 火山灰の拡散状況によるもの (拡散領域あり)

WVJP31 RJTD 201355

RJJJ SIGMET I03 VALID 201355/201955 RJTD-

RJJJ FUKUOKA FIR VA ERUPTION MT SAKURAJIMA (AIRA CALDERA) PSN N3136

E13039 VA CLD OBS AT 1300Z WI N3110 E13116 - N3123 E13118 - N3123

E13126 - N3110 E13124 - N3110 E13116 SFC/FL110 FCST AT 1900Z WI

N3039 E13052 - N3110 E13051 - N3120 E13144 - N3109 E13301 - N3125

E13406 - N3107 E13402 - N3046 E13221 - N3039 E13052=

例文 9 : 解除の場合

WVJP31 RJTD 200910

RJJJ SIGMET H02 VALID 200910/201208 RJTD-

RJJJ FUKUOKA FIR CNL SIGMET H01 200608/201208=

3. 障害時やメンテナンス時の対応

システム障害等により、当該気象情報の作成が不可能となった場合、データの再送は行わないため、あらかじめご承知おきください。